

6月度 <b>例会</b> <b>個人</b> <b>山行報告書</b>		報告者	小村	参加 メンバー	CL:小村、部外者
		報告日	6 / 26		
山 域	蓼科山	山行日	'13年06月23日(日)		
山 名	蓼科山				
山行目的	夏山トレーニング		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



2.5万分の1地図: 蓼科山

6/23 晴れ後曇り  
04:30 自宅発  
08:30 女之神茶屋P  
登山口 入山  
09:10 一本  
10:30 一本  
12:00 山頂・一本  
山頂周遊  
13:30 下山開始  
14:00 将軍平・一本  
15:30 天祥寺原  
16:00 一本  
17:00 女之神茶屋P  
  
入浴  
米沢温泉 塩壺の湯  
  
帰宅

山行報告 梅雨明け前ではあるが、夏山シーズンも迫っており、例会や合宿も迫っているため、足慣らしを目的に、蓼科山周辺の山歩きを計画した。当日朝は、一昨日の台風(接近前に温帯低気圧に変化)通過で晴天に恵まれた。駐車場は8割ほどがすでに埋まっていた。途中のピーナスラインからは遠方の中央アルプスや南アルプスには雲がかかっていたものの、八ヶ岳などの周辺の眺望は良く、思わずクルマを止めようと思ったが自制。午後天気は下り坂の予報もあったので頂上への気持ちが早まった。登山口からしばらくは笹の生い茂る緩やかな道で足慣らしにちょうどよい。笹や木々の緑がとても青々しく、気持ちがいい。やがて白樺林になったあたりから傾斜が増し、足元も岩場へと変化。森林限界の近づいた2300m付近で二本目を取ったが、ここから見た八ヶ岳(写真上)が雲一つかからず一番すっきりとしていて、ここで折り返しても満足とさえ感じるほどだった。山頂直下はテトラポットのような大きな岩の上を歩くことになったが、ストックを使った歩行訓練にちょうど良かった。山頂は半径3~40mくらいはあるフラットな岩場で新鮮味があった。適度な一枚岩を見つけて横になったり、昼食を取ったりして眺望を楽しんだ。

次第に雲が増えてきたため、下山を開始。将軍平までのくだりは同じような岩場かつ傾斜がきつく、濡れていたらこのルートは難しそうだと思った。天祥寺原を下る頃には完全な曇り空となり、眺望もほとんどなく、ひたすら歩を進めることとなった。下りのルートはほとんど人通りもなくもの寂しいが、自然の空気を満喫できた。



リーダー所見 本来前の週に計画した山行であったが、天候不順で日程変更したが、特に岩場を歩くルートは濡れていたらもっと時間を要していただろうと思いました。たまに北アルプスも覗く上に、愛知から比較的アクセスしやすいので、好天時にはまた訪れたい場所だと思いました。



確認  
(リゲ)  
小  
13/06/26  
村

作成  
(報告者)  
小  
13/06/26  
村